

天守閣木造復元における バリアフリーの検討

◆バリアフリーに関する考え方

事項	内容
課題	外観のみならず、内部空間を含めた真実性の高い復元を行うため、バリアフリーとのかい離をどのように解決するかを検討が必要である。
対策	手すりやスロープなどの付加機能の設置のほか、昇降を円滑にするための手段の検討、介助スタッフの配置といった、ハード、ソフト両面からの対応を行うことにより克服する。

◆今後の進め方

事項	内容
意見聴取の実施	障がい者団体、高齢者団体、福祉関係学識者、技術開発関係者等に意見聴取を行う。
庁内検討会議の設置	<ul style="list-style-type: none">• 副市長を議長とした関係局長で構成する庁内検討会議を発足させ、関係課長級で構成するワーキングチームにて検討を行う。• 関係局は観光文化交流局のほか、市民経済局、健康福祉局、子ども青少年局、緑政土木局、教育委員会、交通局とする。• 木造復元天守におけるバリアフリーの考え方と整備に関することを検討事項とする。

◆スケジュール

年月	内容
平成29年12月	<ul style="list-style-type: none">・ 庁内検討会議の設置、検討会議の開催・ 障がい者団体等への意見聴取
平成30年1月	<ul style="list-style-type: none">・ 検討会議の開催・ 障がい者団体等への意見聴取
2月	<ul style="list-style-type: none">・ 検討会議の開催
3月	<ul style="list-style-type: none">・ 検討会議の開催・ 方針の決定